

2018 年度事業計画

1. 図書館事業

(1) 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

(2) 整理

- 図書 <登録予定> 約 4500 冊
大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書 2,500 冊/年
三好達治旧蔵図書（2017 年度より継続） 400 冊
瓜生鐵二文庫 620 冊
山川方夫文庫 620 冊
曾根博義氏旧蔵書のうち文学作品・研究書 登録開始
その他・新着資料
<登録準備>
中村真一郎文庫追加
- 雑誌 <登録予定> 約 10,000 冊
大手出版社新刊 530 冊/年
同人誌 2300 冊/年
紀要 650 冊/年
館報・パンフレット類 550 冊/年
曾根博義氏蔵書
紅野敏郎文庫
（継続 2018 年 2 月末現在 8,946 冊登録済、うち正本 2,425 冊）
その他・新着資料
- 特別資料 <登録予定> 約 4,500 点
昭和戦前期プロレタリア文化運動資料
二葉亭四迷関係資料
木島始文庫・原稿
竹内道之助資料 出版関係資料
登張竹風・正實関係資料 書簡ほか
島崎翁助コレクション（継続）
澤木欣一・細見綾子資料（継続）
加藤楸邨資料（継続）
紅野敏郎文庫 主要肉筆・印刷資料
その他・新着資料
<整備・登録準備>

志賀直哉コレクション（継続）

鎌田研一文庫

② 図書・特別資料の遡及入力

図書 一般書架配架の作品、全集正本

特別資料 佐佐木信綱宛書簡ほか主要作家資料を中心に

(3) 閲覧・公開

① 駒場本館 休館日＝日曜、月曜、第4木曜、年末年始、特別整理期間

成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）

② 資料複写、資料写真サービス

視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

③ 特別資料の所蔵状況のオンライン検索を開始する。

(4) 出品等協力

<企画展示の貸出し> 未定

<その他> 川内まごころ文学館、福井県ふるさと文学館、山梨県立文学館ほかを予定

(5) 特別整理期間

6月12日（火）～16日（土）／2019年2月12日（火）～16日（土）

（電動式集密書架の改修工事に伴う書架移動作業、書架調整ほか）

(6) 図書資料委員会

(7) 志賀直哉コレクション研究委員会

2. 展覧会事業

(1) 春季特別展「生誕一三五年 志賀直哉——「ナイルの水の一滴」」展

会期：2018年3月31日（土）～6月9日（土）、3月30日（金）内覧会を開催

編集委員：池内輝雄、小林幸夫、中島国彦、宗像和重

部門構成：Ⅰ 志賀直哉の息吹を見つめる—志賀宛書簡を中心に

Ⅱ 『暗夜行路』クロニクル

Ⅲ 十代にいのちを伝える—「城の崎にて」

*図録を作成する（48p.1000部、頒価860円=税込）。

川端康成記念室＝「川端文学の名作Ⅱ」を同時開催

(2) 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅱ

—中島敦 『山月記』 とその時代—

会期：6月23日(土)～8月25日(土)

編集委員：安藤宏、山下真史

*関連講座「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして—

(3) 協力企画展 「浅草文芸、〈場〉の力を探る」

主催：浅草文芸の会（代表者 金井景子）

会期：9月1日(土)～10月6日(土)

会場：展示室Ⅰ（川端康成記念室以外の部分）

川端康成記念室＝「モダニズムと浅草」を同時開催

パリ展試行展示（2013年秋、和田博文編集）をもとに、ブラッシュアップする。

(4) 秋季特別展 没後10年 小川国夫展(仮題)

会期：10月13日(土)～12月1日(土)、(5)と同時開催

編集委員：紅野謙介・勝呂奏

(5) 新潮社寄贈資料展(仮題)

会期：10月13日(土)～12月1日(土)、(4)と同時開催

編集委員：中島国彦

(6) 冬季企画展 写真に見る文学の光景(仮題)

会期：12月8日(土)～2019年2月23日(土)

編集委員：武藤康史

(7) 協力企画展「新世紀の横光利一」(仮題)

主催：横光利一展実行委員会（代表 石田仁志）

協力：横光利一文学会

会期：2019年3月2日(土)～3月30日(土)

（「3.11文学館からのメッセージ」と同時開催）

会場：展示室Ⅰ（川端康成記念室以外の部分）

構成(案)：①モダニズム作家として ②東アジアとの接点 ③メディア・雑誌とのかかわり

④東西文化交流の中の作家像 ⑤同時代性と現代性

*関連イベント（講演、朗読など）、横光利一文学大会を開催予定。

(8) 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」

会期：2019年3月2日（土）～3月30日（土）（「新世紀の横光利一」と同時開催）
会場：展示室Ⅱ（川端康成記念室）

3. 講座・講演会事業

(1) 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回30名程度。
春＝4月21日（土）・5月4日（金・祝）、講師：中島国彦　／秋＝未定

(2) 資料は語る <東京近郷の文学>

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日／
後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、定員各回40名

(3) 声のライブラリー（石橋財団助成事業）

5月12日、9月8日、11月10日、2019年2月9日の各土曜日 定員各回80名
文学者の自作朗読と座談会。会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる。
利用促進のためPR強化を図る。

(4) 「教室」と「文学」をつなぐー日本近代文学館を橋渡しとして

7月14日（講師：中島国彦・紅野謙介）、8月11日（山下真史）開催予定
夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅱー中島敦『山月記』とその時代」
にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法（ミニレクチャー）や意見
交換会（定員60名）、書庫見学（定員30名）を行う。

(5) 第55回夏の文学教室 「近代と現代の間としての昭和」（仮題）

読売新聞社後援、7月30日（月）～8月4日（土）、有楽町・よみうりホール

(6) 文学館演習ー日本近代文学資料の探索と処理

8月21日（火）～25日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、
計20コマ30時間、2単位）

(7) 文学館職員研修講座

2019年1月下旬の3日間（日未定）

4. 刊行事業

(1) 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期
第8回配本別巻『写真アルバム』の準備

(2) 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第14号

2019年3月20日刊行予定

(3) 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

(4) 文学館の歴史をまとめたリーフレット

5. 運営審議会

- ・6月23日、2018年度運営審議会開催予定

6. 全国文学館協議会

- ・6月13日、幹事会、資料情報部会世話人会、2018年度総会
- ・10月26・27日、現代詩歌文学館で資料情報部会開催。

7. 広報

- ・館報「日本近代文学館」を続刊
- ・ホームページの拡充、刷新をはかる。

8. 設備改修工事

電動式集密書架の改修：2018年度はB単位の改修を実施。

見積金額 11,097,248円（税込）＝2017年度修繕引当金を取崩して充当

（2015年3月理事会で承認された電動集密書架等長期修繕計画にもとづき、2015～2021年の7年間にわたり7区画を順次改修する）

9. その他

講演音源の電子図書館向け配信企画、2018年4月配信開始（予定）。